

がん患者さんにご家族のための

# ピア・サポーターズ サロンちば

がん経験者であるピア・サポーターが「仲間」として患者さんやご家族の悩みを聞いたり、体験をお話する場です。少人数で話しやすい雰囲気です。

申込み不要。  
開催時間内のご都合のよい時間にお越しください。

開催日：平成30年3月23日(金)

時間：午前10時～午後3時

開催場所：千葉県がんセンター1階研修室

(千葉市中央区仁戸名町666-2)

◆バスにて千葉県がんセンター下車◆

JR千葉駅東口より約25分、JR蘇我駅より約16分、JR鎌取駅より約13分

参加するピア・サポーターからのメッセージです  
(都合により参加者が変更となる場合がありますので、ご了承ください)

父を胃がんで看取り、自分も肺がんを経験しました。家族と患者の立場で病人の気持ちが少しは理解できるのではと思っています。(60代女性、肺がん)

抗がん剤が心配でなかなか治療を始められませんでした。治療が効果をもたらし、今、こうしてここにいることを伝えたいです。(50代女性、乳がん)

肺がんの手術を経験しました。その時は相談、話す場もなくとても不安でした。今は話す場、仲間がいます。お話しをしましょう。(50代女性、肺がん)

3か月間で直腸がん転移性肺腫瘍の摘出手術を経験しました。思いわずらうと体に良くないと考え、「今日は今日、明日は明日」の積み重ねで生きています。(60代女性、直腸がん)

乳がんの手術を2回経験しました。両方とも全摘しました。今年も桜を見る事ができて、本当に感謝しています。一日一日、笑顔で楽しく過ごして生きたいと思っています。皆それぞれ事情は違いますが、世界に一つだけの自分の花を咲かせましょう。(50代女性、乳がん)

私は自分の病を語ることで、頭の中が整理できたり張りつめていた自分の気持ちに気づいたりしました。でも語るのがつらい時は無理に語らなくても大丈夫です。それも仲間だからこそのわかる気持ちかもしれません。(60代女性、乳がん)

13年間で10回のがん手術をしましたが、今はボランティアも旅行も普通にやっています。はじめはなぜ自分だけがこんな目にあうのか、天を呪うこともありましたが、がん患者同士で話をするのがこんなにも癒しになるとは思ってもませんでした。(70代男性、胃・直腸・大腸・十二指腸がん)

お問い合わせ 千葉県地域統括相談支援センター

Tel:043-264-5431(内線2530)